

セミナー名：法律ディベート～裁判におけるルールの使い方を考える

このセミナーでは皆さんに「法律ディベート」を行っていただきます。皆さんの中には、政策問題や社会問題に関する論題をめぐって、肯定派・否定派に分かれて議論をする、いわゆる政策ディベートの経験を持っている人もいるかもしれません。しかしながら、もともとディベートは、法廷における弁論のやりとりを起源としていますから、実際の裁判のように原告側・被告側に分かれて、法律の解釈をめぐって議論する法律ディベートは、ディベートの原形とでも表現することができます。

今回取り上げるテーマは、子が親の許可を得ずに勝手に親の土地を売る約束をしてしまい、トラブルになった、という事案です。このとき、親は土地を取り返すことができるのかについて、親（原告）の側と業者（被告）側に分かれ、ディベートしてもらいます。いきなり法律に触れるのが不安かもしれませんが、大学生が必要な知識や考え方については解説するので心配ありません。皆さんの中には「裁判なんて自分には関係ない」と思っている方もいらっしゃるかと思います。しかし、今回取り上げる、土地の権利の問題だけでなく、相続やお金の貸し借り、離婚など、裁判になりうる問題は意外と身近にあるものです。そのような紛争に関わることになったとき、今回のような裁判さながらの議論を行った経験を通して法的なものの考え方が身につけていけば、大いに役立つと思います。ぜひ、奮ってご参加ください。